特別支援教育の扉 №201　　令和８年10月１日発行

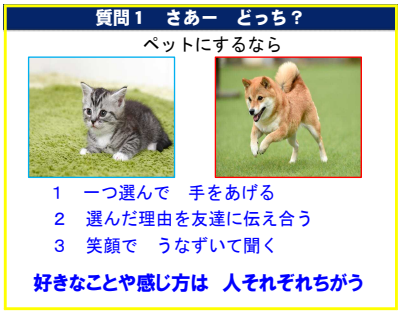
「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

特別支援教育統括コーディネーター　加賀谷　勝

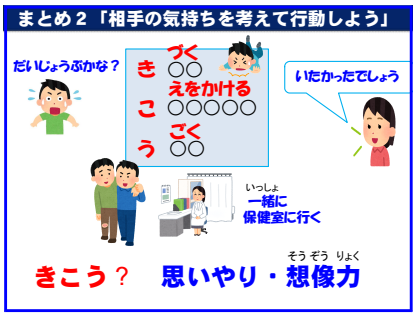
「相手の気持ちを考えて行動しよう　～きこうって　なに?」～

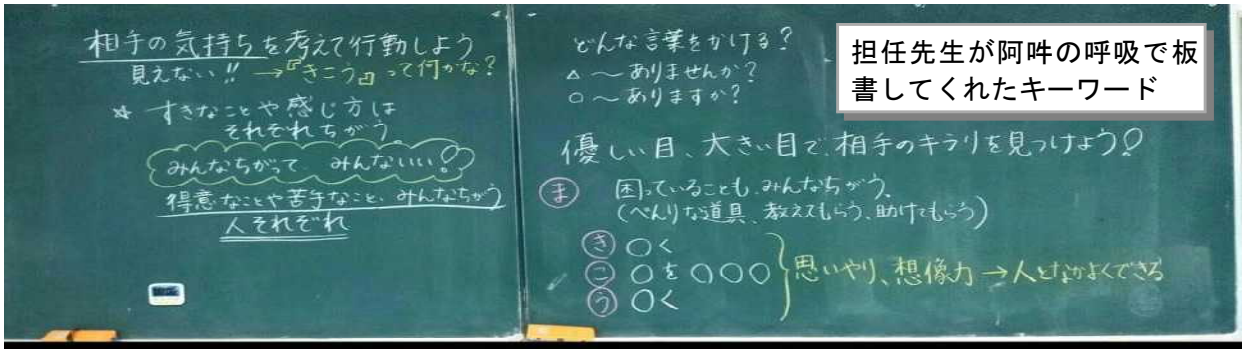
先日、淳城南小学校４年生を対象に、相手の気持ちを想像したり、思いやったりすることの大切さについて考えることをねらい、出前授業を行いました。最後はみんなで教室内に響き渡る大きな声で、「きづく・こえをかける・うごく」を唱和しました。

１　授業内容（互いの違いに気付く→相手の気持ちを考えた演習・体験に挑戦→「きこう」を知る）









担任先生が阿吽の呼吸で板書してくれたキーワード

２　子どもたちの感想

今日からきこうを実践して、困っている人がいたら声をかけたり、うごいたりしたいと思いました。家ぞくにも伝えたいと思いました。

言い方によって親切に言っても伝わらないことがあるので、言い方に気をつけたいです。これから「きこう」をがんばりたいです。

「友達のいいとこさがし」をして、相手の良いところがたくさんあるんだなあと思いました。これからも相手のことをよく考えたいです。

きこうは思いやりや想像力があるから、相手が困っていたら行動して助けられると思いました。人は感じ方がそれぞれ違うのがわかりました。

「ありませんか」と言われると、いやだなと感じる人がいると教えてもらいました。みんなちがってみんないいときこうを心の中に入れます。

きこうを知ったので、のこりの学校生活で思いやりの気もちをもって、どうなるかを考えて行動することを心がけていきたいです。

とれたて直送便

【名言・名句】



ある園に掲示されていた名言を紹介します。①「イライラした時ほど言ってはいけないことを言わないように」、②「絶好調な時ほど思いやりの心をなくさないように」、③「忙しい時ほど感謝の言葉を忘れないように」、④「当たり前と思った時ほど自分の気持ちを言葉で伝えるように」。どんな時も自分らしくありたいものです。似たような名言も紹介します。「楽しい時に笑顔が育つ」、「苦しい時に心が育つ」。